

政見放送のご案内

参議院選挙(比例代表)

NHK

NHKは、公職選挙法などの関係法令に基づき、政見を収録し、放送しています。

この冊子は、参議院選挙(比例代表)の政見放送の申し込み手続きや収録に関する注意事項などをまとめたものです。

政党ならびに関係の方々は、事前にご一読くださいますようお願いします。

目 次

1 政見放送の概要

- (1)政見の持ち時間
- (2)放送回数と収録回数
- (3)放送日時・順序
- (4)放送範囲

2 政見放送の受け付け

- (1)受付期間・時間
- (2)受付場所
- (3)申し込み手続き
- (4)必要書類

3 手話通訳

4 字幕番組

5 政見放送の収録

- (1)プロンプターなど
- (2)政見の持ち時間
- (3)収録方式
- (4)服装など
- (5)言動
- (6)ラジオ
- (7)2種類の政見を収録した場合の放送日時の指定について
- (8)収録所要時間
- (9)音声機能等に障害のある方の政見放送

6 補足

資料

- (1)政見放送申込書
- (2)ディスク録画(録音)方式届(別紙 1)
- (3) 文字により参議院名簿登載者を紹介する場合の紹介順位及び氏名
(添付書類 1)
- (4)複数方式に出席する参議院名簿登載者の氏名(添付書類 2)
- (5)確約書
- (6)代理人証明書
- (7)政見放送録画(録音)日時決定票
- (8)Aディスク及びBディスクを収録する
参議院名簿届出政党等の各ディスクの放送日時の指定の通知書(別紙 2)
- (9)出席証明書
- (10)録音物使用申請書
- (11)録音用原稿用紙
- (12)常時介護者届出書
- (13)字幕放送の制作等に関する注意点

1 政見放送の概要

参議院比例代表選挙では、候補者の名簿を届け出たすべての「参議院名簿届出政党等」という政党その他の政治団体が政見放送を行うことができます。

「参議院名簿届出政党等」になることができるのは、①衆議院議員または参議院議員を5人以上有するか、②直近の国政選挙で得票総数が有効投票の2%以上である政党その他の政治団体、および、③比例代表の名簿搭載者を含めて10人以上の候補者を届け出た政党その他の政治団体です。

(1)政見の持ち時間

1回の政見放送の時間は17分以内です。

(衆参同日選挙の場合は14分以内となります。)

(2)放送回数と収録回数

放送回数と収録回数は、名簿登載者の数により異なります。

17人以上の場合、2種類の政見を収録できます。

名簿登載者数	テレビ放送	ラジオ放送	収録回数
1人～8人	2回	1回	1回
9人～16人	4回	2回	1回
17人～24人	6回	3回	2回以内
25人以上	8回	4回	2回以内

(3)放送日時・順序

放送日時と放送順序は、中央選挙管理会が「くじ」で決め、参議院名簿届出政党等に通知します。

(4)放送範囲

比例代表の政見放送を行うのはNHKだけで、すべて東京発の全国放送です。収録は、東京・渋谷のNHK放送センターで行います。ただし、設備または地域の事情等やむをえない事由がある場合には、総務省告示の実施規程等を踏まえて対応いたします。

2 政 見 放 送 の 受 け 付 け

(1)受付期間・時間

○受付期間 NHK 放送センター:公示日の1週間程度前から公示日まで

○受付時間 原則、以下のとおりです

公示日前の受付時間	月曜日～金曜日 午前 10 時～午後4時
公示日の受付時間	午前8時 30 分～午後5時

※公示日前の土曜・日曜・祝日は受け付けを行いません。

※受付日時・収録日時枠については別紙のとおりです。

詳しいことは、下記におたずねください。

お問い合わせ

NHK政見放送実施本部

住所 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

電話 (03)3468-4492

(平日 午前 10 時～午後 6 時)

(2)受付場所

○公示日前

NHK放送センター4階正面玄関受付の横

○公示日

総務省の立候補届出受付会場内

(3) 申し込み手続き

申し込みできるのは、参議院名簿届出政党等の代表者または政見 放送担当責任者もしくは代理人です。代理人の場合は、「代理人証明書」(資料(6))を提出してください。

代表者または政見放送担当責任者の方には、当該参議院名簿届出政党等の政見について、一切の責任を持っていただきます。

(4) 必要書類

申し込みの際に用意していただくものは、以下のとおりです。

○公示日前

- ① 政見放送申込書および別紙 1 および添付書類 1・2
(資料(1)～(4))※所定のエクセル書式で作成可能です。
- ② 供託証明書(写)※供託後に供託所から交付される供託書正本のコピー
- ③ 確約書(資料(5))
- ④ 代理人証明書(資料(6))※代理人が申し込みを行う場合のみ
- ⑤ 代表者または政見放送担当責任者または代理人の印鑑
(印鑑は必須ではありませんができるだけご持参ください。
認印でもかまいません。)

○公示日(※立候補届出後に申し込み可)

- ① 政見放送申込書および別紙 1 および添付書類 1・2
(資料(1)～(4))※所定のエクセル書式で作成可能です。
- ② 代理人証明書(資料(6))※代理人が申し込みを行う場合のみ
- ③ 代表者または政見放送担当責任者または代理人の印鑑
(印鑑は必須ではありませんができるだけご持参ください。
認印でもかまいません。)

※公示日当日の申し込みは、立候補届出を済ませた名簿届出政党でなければ受付を行うことができません。

※必ず上記の提出物を書面で持参し、申し込みを行ってください。口頭での受付はできません。

※代理人が申し込みを行う場合、「代理人証明書」の提出とあわせて、本人確認を行いますので、本人確認書類を忘れずにご持参ください。

【本人確認書類にあたるもの】

運転免許証、マイナンバーカード(個人番号カード)、パスポート、
など**写真付き**のもの

(※これらをお持ちでない場合は申し込み前にNHKにご相談ください)

※「政見放送申込書」には政見放送で表示する政党その他の政治団体の名称(略称がある場合は、正式名称・略称のいずれを使用するか決めてください。党派名が二十字を超える場合は、立候補届に記載された二十字以内の略称で放送します)や収録方式などを記入し、「別紙」には収録する際の細目(手話通訳・字幕放送・プロンプターの有無、出席者氏名など)を記入します。また「添付書類」には所要の事項を記入してください。

※名簿登載者が17人以上で2パターン(Aディスク・Bディスク の2種類)収録する政党等は、1種類ごとに収録方式を記入してください。

※記入用の所定のエクセル書式は別途お送りします。

申し込みいただきますと、政党等のご希望を考慮して、収録日時を決め、「政見放送録画(録音)日時決定票」(資料(7))を発行します。収録当日は、この決定票を必ずご持参ください。

申し込み後は、正当な理由なく、記載内容や収録日時の変更は一切できません。

受付期間内に申し込みをしなかった場合や、申し込み時に決めた収録日時に正当な理由なく来なかった場合は、政見放送ができなくなりますので、ご注意ください。

3 手 話 通 訳

参議院名簿届出政党等は、希望すれば、政見の中に手話通訳を入れることができます。

ア 政見放送に手話通訳をつけるかどうかは、政党等の判断です。

手話通訳をつける場合は、政党等がみずから通訳士を確保し、「ディスク録画（録音）方式届」に手話通訳の有無を記入してください。

手話通訳士の選定および手話通訳の内容については、すべて候補者の責任となります。

イ 手話通訳士は、厚生労働省の資格試験に合格した通訳士に限ります。

（平成元年厚生省告示第122号の手話通訳士をいう）

ウ 放送画面上で手話通訳を行うのは1人です。

手話通訳士は政見放送出席者の斜め後ろに立って通訳し、NHKはこれを同時に収録します。

4 字 幕 番 組

参議院名簿届出政党等は、希望すれば、政見放送を字幕番組とすることができます。

字幕番組とは、テレビのリモコンの字幕ボタンを押すことで表示される文字放送のことです。

ア 字幕番組を希望するかどうかは政党等の選択にまかされています。

字幕番組を希望する場合は、「ディスク録画(録音)方式届」の所定の欄に記入してください。

イ 字幕番組の制作は、NHKが行います。

政見放送収録時に、政見の内容にあわせて、NHKが「字幕原稿」を作成します。字幕原稿作成後に、参議院名簿届出政党等の代表者または政見放送担当責任者もしくは代理人の方に、電子メールにて内容の確認をお願いしますので、速やかなご回答をお願いします。また、正確かつ速やかな原稿作成のためにも、出来る限り、収録の前に政見の原稿をお送りいただくよう、強くお願いします。手順等の詳細については、別紙「字幕放送の制作等に関する注意点」(資料(13))をお読みください。

ウ 字幕番組の文字表記は、「NHK漢字表記辞典」「NHKことばのハンドブック」を基本とします。

なお、字幕番組のシステムの制約で、表記できない文字があることをあらかじめご了承ください。

5 政見放送の収録

参議院比例代表選挙の政見放送は、東京渋谷のNHK放送センターのスタジオで収録します。

申し込み時に決めた収録日時に来なかった場合は、収録ができなくなります。とくに出席者の数が多い時は、くれぐれもご注意ください。

(1) プロンプターなど

収録では、政党・出席者が用意したプロンプターなどを使用することも可能です。ただし、その場合は収録前日までにNHKに持ち込んでいただき、画質や音質に影響を及ぼさないかチェックする必要があります。詳しくはNHKにお問い合わせください。

(2) 政見の持ち時間

1回の政見放送の時間は17分以内です。

(衆参同日選挙の場合は14分以内となります。)

この時間には、手話の動きや話の前後の会釈等も含みます。

(3) 収録方式

収録方式は、次の中から、参議院名簿届出政党等の責任で選んでいただきます。

ア「単独方式」

1人で着席したままの話。

名簿登載者でなくてもかまいません。

イ「対談方式」

2人で着席したままの話。

名簿登載者でなくてもかまいません。

ウ「複数方式」

1人の司会者の進行で名簿登載者が1人ずつ登場しての話。司会者は名簿登載者でなくてもかまいません。

エ「組み合わせ方式」

ア、イ、ウのうち2つを組み合わせた方式。

前半何分、後半何分と決めてください。

組み合わせ方式は、全部あわせますと、9とおりあります。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ○ 単独・単独 | ○ 単独・対談 | ○ 単独・複数 |
| ○ 対談・単独 | ○ 対談・対談 | ○ 対談・複数 |
| ○ 複数・単独 | ○ 複数・対談 | ○ 複数・複数 |

※使用するカメラはどの方式でも1台です。

※単独方式および対談方式の場合は、希望により名簿登載者を「文字（全画面静止画）」で紹介することができます。「添付書類1」に紹介する順位を記入してください。

※複数方式の場合は、「添付書類2」に出席する名簿登載者の氏名または通称を記入してください。

(4)服装など

通常の洋服・和服いずれでも結構です。色は紺・茶・グレー系統のものが好ましく、白系統や細かい柄はテレビの画面が見にくくなることがありますので、避けていただくのが無難です。

たすき・はちまき・腕章、その他特別の意図を示す服飾・バッジなどは使用できません。

収録では、原稿以外の図表・写真・絵などは使用できません。画面に映りこまない範囲で、政党側がカンペを出すことは可能です。NHK側がお手伝いすることはできません。

(5)言動

公職選挙法では、以下の言動は禁止されています。内容によっては候補者本人や関係者が民事上・刑事上の責任を問われる可能性がありますのでご注意ください。

- ・他人もしくは他の政党、その他の政治団体の名誉を傷つけること
- ・善良な風俗を害すること
- ・特定の商品の広告など営業の宣伝をすること
- ・その他政見放送としての品位を損なう言動
- ・他の選挙や当該地域以外の選挙の運動

比例代表の政見の中で、選挙区の候補者にふれることはできません。

事後に削除・編集等の要請をされても一切応じかねますので、政見の内容には十分ご注意ください。

(6)ラジオ

ラジオの政見放送は、原則として、テレビの政見放送の音声をそのまま使用します。

ただし、「複数方式」のみ、希望があった場合には、別に収録することができます。その場合は「別紙 1」(資料(2))に記入してください。

ラジオの政見放送で、テレビとは別に収録を希望する場合、収録方式は、3つの方式(単独・対談・複数)のいずれかに限ります。

(7)2種類の政見を収録した場合の放送日時の指定について

放送日時・順序は、中央選挙管理会が政見放送の申し込み締切り後に「くじ」で決め、参議院名簿届出政党等に通知します。

「Aディスク」「Bディスク」の2種類の政見を収録した参議院名簿届出政党等は、遅くとも公示日の翌日の正午までに、「Aディスク」「Bディスク」それぞれの放送日時を指定した通知書(資料(8))をNHKに提出してください。通知書は、テレビ・ラジオそれぞれについて、提出していただくことになっています。

通知書の提出が遅れますと、政見放送の制作スケジュールに大きな影響が出ますので、くれぐれもよろしくお願いいたします。

(8)収録所要時間

収録所要時間は収録方式、出席者の数により変わりますが、打ち合わせ、メイクなどを含め2時間半程度必要となります。

※「公職選挙法」「政見放送及び経歴放送実施規程」など、政見放送に関する法令は総務省のHPで公開されています。

https://www.soumu.go.jp/menu_hourei/senkyo.html



(9)音声機能等に障害のある方の政見放送

音声機能もしくは言語機能に著しい障害のある方は、あらかじめ原稿を提出し、NHKで録音したものを政見放送の収録の際に使用するか、または当該者を常時介護する方を通じて政見を述べるすることができます。

対象となるのは、身体障害者手帳または戦傷病者手帳に総務省告示で定められた音声機能もしくは言語機能に障害があると記載されている人、あるいはそれと同程度の障害があると都道府県知事または指定都市または中核市の長が書面で証明した人となっています。

希望される方は、音声機能などの障害の程度を証明する書面（または手帳）と、政党が発行した「出席証明書」（資料（9））を添付して「録音物使用申請書」（資料（10））「録音用原稿」（資料（11））、または「常時介護者届出書」（資料（12））を提出してください。

録音用原稿の字数は4,950字以内（録音用原稿16枚半）です。（衆参同日選挙の場合は4,050字以内＝録音用原稿13枚半）「組み合わせ方式」の場合の録音用原稿は、前半、後半のそれぞれの時間から0.5分を差し引いたものに300字をかけあわせた字数以内ずつとしてください。

※録音用原稿は Word ファイルなど、電子データでの提出も可能です。作業の正確性や効率性の観点からもNHKとしては電子データでの提出を推奨します。希望される場合は、NHK担当者にご相談ください。

6 補 足

公職選挙法は、虚偽事項の公表、政見放送の不法利用を罪と定めています。
政見、経歴の作成に当たってご注意ください。

【参考】公職選挙法

(虚偽事項の公表罪)

第二百三十五条 当選を得又は得させる目的をもつて公職の候補者若しくは公職の候補者となろうとする者の身分、職業若しくは経歴、その者の政党その他の団体への所属、その者に係る候補者届出政党の候補者の届出、その者に係る参議院名簿届出政党等の届出又はその者に対する人若しくは政党その他の団体の推薦若しくは支持に関し虚偽の事項を公にした者は、二年以下の拘禁刑又は三十万円以下の罰金に処する。

2 当選を得させない目的をもつて公職の候補者又は公職の候補者となろうとする者に関し虚偽の事項を公にし、又は事実をゆがめて公にした者は、四年以下の拘禁刑又は百万円以下の罰金に処する。

(政見放送又は選挙公報の不法利用罪)

第二百三十五条の三 政見放送又は選挙公報において第二百三十五条第二項の罪を犯した者は、五年以下の拘禁刑又は百万円以下の罰金に処する。

2 政見放送又は選挙公報において特定の商品の広告その他営業に関する宣伝をした者は、百万円以下の罰金に処する。